

第三回北日本新聞社旗争奪富山県少年野球大会

大会長	梅沢 直正				
副大会長	高橋 久和	島 正明	河口 利春	勝山 良三	
実行委員長	関本 昌之	午房 一信	高森 毅	吉野 司	家城 晋一
副実行委員長	岡村 和弘	大上 辰男	澤 徹	米本 伸治	場家 正夫
	赤倉 哲郎	山崎 克己	原田 光人	中山 強	浜田 貴志
	増原 亮	角田 誠	村井 宗重	朝倉 斉	福島 正司
	南 誠	舘 登志雄	中尾 正純	北山 和仁	川口 誠
	橋森 弘治	本井 一義	作道 聡	長谷川大介	中沢 豊治
	前田 聡	岡田 達郎	高瀬 孝		
審判長	平井 直文	古川 憲一	番場 光弘	藤本 博志	松永 敏之
事務局長	京谷 司	川原 裕司	北川 憲一		

日時	抽選会	5月13日(土) PM6:30～	ウイングウイング高岡 4F 大ホール
	開会式	6月25日(日) PM7:00～	富山市民球場(アルペンスタジアム)
	予選	7月16日(日)、17日(月/祝)、22日(土)、23日(日)、 29日(土)、30日(日)、8月1日～8月31日	
	決勝	11月5日(日)、11日(土)、12日(日)、18日(土)	
	予備日	11月19日(日)、25日(土)、26日(日)、12月2日(土)、3日(日)	

会場	予選	常願寺グラウンド、婦中ピースフル、婦中スポーツプラザ、 富山県総合運動公園、新港野球場		
	決勝	富山県営球場、宮野球場、大沢野スタジアム、砺波球場、新港野球場、 富山県総合運動公園		

試合方法	予選	5回戦	1ブロック3チームの総当り	1位チーム決勝進出
	決勝	7回戦	トーナメント	

表彰	優勝旗	優勝杯	金メダル	最優秀選手	最優秀投手	優秀選手
	次勝旗	次勝杯	銀メダル	優秀選手	優秀投手	敢闘賞
		3位杯	銅メダル	優秀選手	優秀投手	敢闘賞
		3位杯	銅メダル	優秀選手	優秀投手	敢闘賞
	予選全チーム			優秀選手		参加賞

参加費 10,000円

参加申し込み 一心スポーツ 京谷 司

参加申し込み締め切り 2006年4月5日(水) 厳守

第三回北日本新聞社旗争奪富山県少年野球大会要項

- 目的 スポーツを通じ、各地域のスポーツ少年団の親睦と交流を深め健全な心身の育成に努めることを目的とする。
- 主催 北日本新聞社 富山県少年野球連盟
- 協賛 ミズノ株式会社 ダイワマルエス株式会社 ベースボールハウス MVP
ベースボールハウススタジアム 株式会社エーティーワークス 広告賛助会員
- 後援 一心スポーツ (有)ワイズカンパニー
- 参加資格 全軟学童に登録し、スポーツ障害保険に加入しているチーム
- チーム構成 選手18名、監督1名、コーチ若干名とする。
- 大会規約 ① 試合球はダイワマルエス C 球を使用し、大会本部で用意する。
② ベンチは組み合わせ番号の小さい方を1塁側とする。
③ 試合開始 30 分前に集合しオーダーを提出し攻守の決定を抽選で決める。
- 予選の試合方法
- ① 1 ブロック 3 チーム編成をとり、総当りを行う。
 - ② 1 試合 5 イニングとし、1 時間 20 分の時間制限を設ける。但し、1 時間 20 分を越えた回の次のイニングまでは試合を継続することとする。
 - ③ 3 回以降 20 点差でコールドゲームとする。
 - ④ 同点での延長戦は、特別延長(ノーアウト満塁継続打順)で行う。特別延長を1イニング実施しても決着がつかない場合は、2 イニング目まで実施する。それでも決着がつかない場合は、抽選とする。
 - ⑤ 勝ち点の算出方法は、勝ちチーム 3 点、負けチーム 0 点とし、総得点により予選順位を決定する。順位に関して次の処置をとる。
 - (1) 勝ち点の多い方が上位となる。
 - (2) 勝敗が同率の場合は、失点率の低いチームを上位とする。
 - (3) 失点率が同率の場合は、得点率の高いチームを上位とする。
 - (4) 失点率/得点率ともに同率の場合は、抽選とする。ここで、失点率/得点率の算出には特別延長を含まないこととする。
※失点率とは失点を守備機会のアウトカウントで割った値とする。
※得点率とは得点を攻撃機会のアウトカウントで割った値とする。
 - ⑥ 1 位チームが、決勝トーナメントに進出する。
 - ⑦ ボークは、1 回目は注意とし、2 回目から正式に宣告する。
 - ⑧ 審判は 3 チームのうち、試合を行っていない残りの 1 チームが行う。
 - ⑨ 雨天の場合、当日第 1 試合、30 分前に中止決定を決める。試合途中の雨日没等のコールドゲームは 4 回終了を規定とする。
 - ⑩ 打者、走者、ランナーコーチは、ヘルメットを着用し、捕手は、マスク、プロテクター、レガースを使用し、ゴムスパイクまたは運動靴を使用する。
 - ⑪ 審判への抗議は、監督、主将のみとする。但し、主審がすべての権限を持つこととする(明らかな誤審の場合は、主審/塁審の協議の上、最終決断は主審が行うこととする)。

- ⑫ 試合前に各チームは会場準備にご協力をお願い致します。また、試合終了後、使用したベンチおよび応援席、そのまわりの清掃にご協力をお願い致します。

決勝の試合方法

基本的なルールは予選と同じである。予選と異なる点のみ説明する。

- ① 試合は、7回戦とし、5回以降7点差でコールドゲームとする。同点の場合は予選と同様に最大2イニングまでの特別延長を行う。(予選と同様に1イニングで決着がつかない場合のみ2イニング目を行う。)
- ② 試合時間は、1時間40分を制限とする。
- ③ 審判は、参加各チーム登録の2名を出し、1日4試合の会場では、1試合目は2試合目のチームで、2試合目は1試合目のチームで、3試合目は4試合目のチームで、4試合目は3試合目のチームで行う。1日5試合の会場も同様とし、5試合目の審判は本部で行う。また、1日3試合の会場では、1試合目の審判は2試合目のチームで、2試合目のチームは1試合目のチームで、3試合目のチームは1試合目と2試合目の敗者のチームで行う。なお、準決勝および決勝については、本部で行う。